

# 第 18 回太宰府市まちづくり市民会議幹事会

平成 25 年 1 月 16 日 (水) 19:00~

於 市役所 4 階 403 会議室

出席者：原田・大藤・中島・大森・笠利・古賀・平嶋・船越・前田・御笹・山崎

欠席者：

1. 開会 (19 時~)

2. 前回の振り分け結果について (19 時 10 分~)

3. 職員・市長の振り分けについて (19 時 50 分~)

4. 第 13 回まちづくり市民会議について (20 時 30 分~)

5. その他 (20 時 50 分)

次回幹事会 平成 25 年 月 日 ( ) 時~ 会議室

<p><b>21.無関心</b>          ・市民は市政に無関心である          →行政の無作為          ・市政に対する無関心が、行政任せを加速している          ・市政に対して意識が低い          ・市民の意識が他の市に比べて低い</p>	<p>・市民と行政が協力する場がないので、行政の考え、方針が市民には伝わらない。          ・市民参加が少ない          ・市民参加が不十分          (行政も市民も)</p>	<p>・投票率も低下          ・他人任せになり勝ち          ・自発性がない          ・問題を解決しよう、何かを創り出そうという力がない          ・横のつながり薄い</p>	<p>・議員の賛否が全く不明          ・行政、議会、市民とも意識が高いのはごく一部の人達          ・議員の賛否だけでも公開しなければ          ・市民が選んだ議員          ・市民の協力が多くなった(行政職員の声)</p>
---	--	---	---

	1班	2班	3班	4班	5班	6班	7班
なぜ	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人の情報が伝わりにくい(他人に関心がない)。</li> <li>自分から知ろうとしていない。</li> <li>意識を持った人の無関心な人への働きかけが不足。</li> <li>行事に参加する人が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活に困っていないから、切実感が持てないのでは(市政に関して)</li> <li>生活に直接困らない。</li> <li>学校の関わりがなくなると忙しい。</li> <li>自分だけ良ければと考える人が増えた。</li> <li>成長している時代、国や自治体が主導してきた時代。</li> <li>選挙時、候補議員の政策や人物ではなく、地縁で頼まれて投票している、意識が低い。</li> <li>高齢化の現実、同世代(20~40代)の共通の体験や交流する場がない。</li> <li>行政の広報が足りない(情報が足りない)</li> <li>市民が理解できる共通の問題がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>希望と夢を語り、引き付ける力を誰もが持つ!</li> <li>希望が持てないから⇒無関心。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>太宰府は住む所で、様々な活動をする場ではないという方が多いのでは。</li> <li>市のホームページを開く市民は少ない。</li> <li>行政の情報公開が少ない(市民が求める情報)</li> <li>自分中心で余分な事(負担になること)はやりたくない。</li> <li>自分の生活に関わりないものには関心がない。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>「市民」とは誰か、議論が必要。住民、通勤者、通学者、事業者、学生</li> <li>「市民」とは誰かを考えないと議論が進まない</li> <li>他所へ勤めていると地域の声が聞こえてこない</li> <li>信頼に値する人や組織がこの町にいない。</li> <li>行政に「期待」という気がおこらなかった「期待」しなかった</li> <li>「住宅地」としての太宰府→寝るだけの所じゃないかという人もいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベッドタウンなので、寝るだけになっていて暮らしに関心がない</li> <li>遊び場がないので市に興味がない</li> <li>市政に興味を持つ情報が流れていない</li> <li>アルバイト(職場)があるまちに住む傾向。太宰府に働く場がないので、学生も住まない。</li> <li>社会情勢が変わって求められるものが変わってきている。それについていけないという人もいる</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会、地域で出前講座を活用し、情報の共有と共に、地域のつながりも生み出す</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>情報のやりとり、共有化、連絡し合う</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ありのままを知ってもらう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>寝る(眠る)だけの人も主役である町</li> </ul>	
解決の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>意識持っている人が周囲の人へ働きかける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民に問題提起を起こさせる方向に持っていく(ゴミ捨て、雑草、防犯灯、犬のフン)</li> <li>行政だけでできなくなる時代が来ることを市民に知ってもらう</li> <li>市政について自治会で議論してみればいいのでは</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>無関心の人には他人任せにしない。協力し合うこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関心をもつよう心がけねばならない</li> <li>市政への参画の機会を積極的に活用する</li> <li>地域に密着した生活を心がける対策が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災を考える。自治会と一緒に考えて考える感心を引き出すひとつの方法</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>保育所、福祉施設等生活に必要なものがあれば、興味を持てる</li> </ul>

振り分け

<p><b>基本原則</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治会、地域で出前講座を活用し、情報の共有と共に、地域のつながりも生み出す</li> <li>情報のやりとり、共有化、連絡し合う</li> <li>ありのままを知ってもらう</li> <li>寝る(眠る)だけの人も主役である町</li> </ul>
<p><b>市民の役割・責務</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意識を持っている人が周囲の人へ働きかける</li> <li>住民から問題提起を起こさせる方向に持っていく</li> <li>行政だけでできなくなる時代が来ることを市民に知ってもらう</li> <li>市政について自治会で議論する</li> <li>無関心の人には他人任せにせず、協力し合う</li> <li>関心をもつよう心がけねばならない</li> <li>市政への参画の機会を積極的に活用する</li> <li>地域に密着した生活を心がける対策が必要である</li> <li>「防災」について自治会と一緒に考えて、感心を引き出す</li> <li>保育所、福祉施設等生活に必要なものがあれば、興味を持てる</li> </ul>

解決の方向		・議会は市民を交えて公開討論	・議会の日曜開催努力。(行政、議会、市民も)		・傍聴してもらうような、関心を持ってもらうための議会の工夫。 ・議員の機能 議論の透明性、説明責任			<b>議会の役割・責務</b> ・議会は市民を交えて公開討論を行う ・議会の日曜開催に向け努力する ・傍聴してもらえるよう議会を工夫する ・議論の透明性を図り説明責任をはたす
		・市民の相談窓口の設置を！(常設の課) ・広報に(市政)に対する意見、質問を受けるシステムをつくって！ ・太宰府再発見などのイベントに市は公民館からバスを出し、市民の関心を高める。		・市民と一緒に参加できる共通の認定(小6の教科になっている太宰府自慢認定)で市民同士が知り合う。	・役所全体で考えること 市職員＝シンクタンク ・将来の展望を先取りして説明する→感心をもとめる			<b>行政の役割・責務</b> ・相談窓口(常設の課)を設置する ・広報に(市政)に対する意見、質問を受けるシステムをつくる ・太宰府再発見などのイベントに市は公民館からバスを出し、市民の関心を高める ・市民と一緒に参加できる共通の認定で市民同士が知り合う ・役所全体で考えることであり、市の職員はシンクタンクの役割を担う ・将来の展望を先取りして説明し、感心をもとめる
		・大規模な行政施策については大規模な公報意見聴取が必要	・市民は傍聴、参加すること					<b>市民参加制度</b> ・大規模な行政施策については大規模な公報意見聴取が必要 ・市民は傍聴、参加する
		・広報を月1回→月2回へ			・ありのままを知ってもらう ・生の情報がいつでも取り出せ、読み取れる。			<b>情報公開、情報共有</b> ・広報を月1回から月2回へ ・ありのままを知ってもらう ・生の情報がいつでも取り出せ、読み取れる
	・自治会、地域で出前講座を活用し、情報の共有と共に、地域のつながりも生み出す。 ・行政、自治会がそうした講習会を開く	・自治会はイベント、講習会等の行事を増やし、コミュニティを高める。	・尋ねたいこと、聞きたいところはあるが、個々として動きにくいから動ける、聴ける方策を		・市民グループを育てる。			<b>コミュニティ</b> ・自治会、地域で出前講座を活用し、情報の共有と共に、地域のつながりも生み出す。行政、自治会が講習会を開く ・自治会はイベント、講習会等の行事を増やし、コミュニティを高める ・尋ねたいこと・聞きたいところはあるが個々として動きにくいから、動ける・聴ける方策を考える ・市民グループを育てる
					・こども議会、学生議会、より多くの人に市政を評価してもらう			<b>評価</b> ・こども議会、学生議会、より多くの人に市政を評価してもらう
					・民生委員への相談内容困っている人→発言のしようがない ・困りごとの情報を出す方法がない。仕組みがない	・(まちのあり方を変えようとする時は)導く者としてのリーダーがいる ・「プライバシー」「共生」「強制」の部分が必要		<b>要確認</b> ・困りごとの情報を出す方法・仕組みがない ・まちのあり方を変えようとする時は導く者としてのリーダーがいる ・「プライバシー」「共生」「強制」の部分が必要である

<p><b>22. 自己中心</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちがやっていることしか関心ない</li> <li>共通認識</li> <li>自己中心的で言葉だけ。行動力（協力）がない、自分さえよければ良い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的視野に欠ける</li> <li>不満を言うだけでなく、その不満を解決する話、活動を</li> <li>自分の行動に責任を持つべき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞く耳を持たない市民が多い</li> <li>「なぜ自治会に入らないか」という市民</li> </ul>	<p><b>23. 市民のマナー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民のモラルが低い(犬のフン、ゴミ)</li> </ul>
---	---	---	---

	1班	2班	3班	4班	5班	6班	7班
なぜ	<ul style="list-style-type: none"> <li>日頃の関係(あいさつ)が薄い。</li> <li>個人的にメリットがないから</li> <li>同じ町内でありながら、知らない人同士の関係だから挨拶もしない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己中心は時代の流れ。自己中でも問題意識を持てば解決方法はある</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>他人に関わりたくない(自分のことで精一杯)</li> <li>公共心の欠如</li> <li>ボランティア精神の欠如</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>価値観が変わってきている。</li> <li>教育、しつけの不足。</li> <li>地域のコミュニケーション不足。</li> </ul>
解決の方向			<ul style="list-style-type: none"> <li>正しいことを伝える(事実を事実として伝える)</li> </ul>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりが自己変革する</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>体験してもらおう！何ごとにも経験</li> <li>挨拶をすることから始まるキャンペーン</li> <li>通勤する、観光客、大学生、全ての市民が挨拶する運動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地道な啓蒙活動。自分達でできることは、自分達でやる意識を植え付ける</li> <li>行政への参画に当たっては自らの発言と行動に責任を持つ</li> <li>まちづくりの主体であることを自覚する</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭や地域での教育を見直す</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども会未加入者にも、“助け合う”ことの大切さを伝え続ける</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>市民が話しあえる場をつくる</li> </ul>

振り分け

<p><b>基本原則</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>正しいことを伝える</li> <li>事実を事実として伝える</li> </ul>
<p><b>市民の役割・責務</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりが自己変革する</li> <li>何ごとにも経験であり、とにかく体験してもらおう</li> <li>通勤者、観光客、大学生、全ての市民による挨拶運動から始める</li> <li>地道な啓蒙活動。自分達でできることは、自分達でやる意識を植え付ける</li> <li>行政への参画に当たっては自らの発言と行動に責任を持つ</li> <li>まちづくりの主体であることを自覚する</li> <li>家庭・地域での教育を見直す</li> </ul>
<p><b>コミュニティ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども会未加入者にも、“助け合う”ことの大切さを伝え続ける</li> <li>市民が話しあえる場を作る</li> </ul>

<p><b>24.自治会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治会と行政は双方向になってない</li> <li>自治会間の格差</li> <li>自治会の後任がない</li> <li>高齢者に対して不十分</li> <li>隣組長の高齢化</li> <li>若い人が自治会に理解がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政も地域も横のつながりが少ない →どこの都市でも起きていること</li> <li>ご近所付き合いが少なくなっている</li> <li>全戸配布の印刷物が届かない(災害マップ)</li> <li>休み(ゴミ出しについて)の時の情報を!広報と隣組回覧不十分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民自治と自治会制度(1行政区1自治会)のあり方の見直し</li> <li>自治会の行政に対する下請け化 →自治会の権限と役割が不明確</li> <li>自治会は任意団体であり、行政の一つの組織(部門)ではない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区:命令を実行するだけだった</li> <li>各行政区(区民)は自治会の制度を十分理解しているのか?行政は自治会制度の導入にあたっては、勿論、その後も十分説明を行い、市民の理解に努めたか?</li> <li>「なぜ自治会に入らないか」という市民</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校区自治協議会の事務局となるセンターがない</li> <li>自分達で新しい組織づくり、万が一の時にどうするか計画をつくった</li> <li>自治会に代わって主体的な活動が生まれてきた</li> </ul>
---	---	---	---	---

	1班	2班	3班	4班	5班	6班	7班
なぜ	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会に入ると忙しくなる為、私的な時間が取れなくなるから</li> <li>なぜ隣組の連携が必要か</li> <li>他人に干渉したくない、またされたくない</li> <li>自治会イコール老人会となり、青年が集まらない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>官製自治会から、脱皮していない故に、市民が「おまかせ」意識を持ち、参加意欲に欠ける</li> <li>44行政区の取り組みにバラツキがかなりある</li> <li>隣近所の付き合いなんか嫌でマンションに住んでいる</li> <li>自治会の位置づけ明確にされていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども会活動も親のエゴで入らないのでは。子どもは入りたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「太宰府市区自治会等の設置に関する規則」は廃止すべきである(行政区 自治会則)</li> <li>自分の事として地域活動をやる人が少ない(=自治会とは何ぞやの基本を理解していない)</li> <li>自治会制度を理解していない。市民に自治会制度を理解してもらう必要がある</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>住むと生きるが一致しない</li> <li>自治会の役割、仕組みがよくわからない</li> <li>市役所の下部組織と誤っている住民がいる</li> <li>自治会のメリットがわからない←高齢化の原因</li> <li>自治会の区域に問題がある(再編が必要)</li> <li>自治組織が育つ要素が欠落している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地の人間と新しい住人のコミュニケーション不足</li> <li>自治会が何のためにあるのかが分かっていない</li> </ul>
解決の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会は任意団体であり、行政の一つの組織(部門)ではない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会規模(人員)の適性を!</li> <li>世帯構成に応じて自治会費に差をつけて、参加を促進する</li> <li>行政は自治会について学び直す必要がある</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会制度について市民が理解するよう説明会の開催(行政区毎に)</li> <li>自治会制度について行政と自治会協議会で協議、検討する</li> <li>自治会は加入自由とするか、原則全戸加入とするのか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会の法律化の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相応の報酬を出す必要がある</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民自治と自治会制度(1行政区1自治会)のあり方の見直し</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>学ぶ自治会、学べる自治会</li> <li>奉仕者としての自治会(身を捨てる覚悟で)</li> <li>自治会が動ける仕組みを作らないといけない</li> <li>自治会を楽しい組織にする</li> <li>自治会制度を活かす制度、仕組みが必要</li> <li>自分達がまちをつくっているという達成感が持てる仕組み</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治協議会は、活動の交流会を実施したらいいのではないか</li> <li>自治協議会は、先進地の視察とか、そこから講師を探して学習を行ったらどうか?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他所の自治会横断ツアー</li> <li>隣組内の交流する機会(場)がある</li> </ul>					

振り分け

<p><b>自治会の定義(説明)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治会は任意団体であり、行政の一つの組織(部門)ではない</li> <li>自治会規模(人員)の適性を図る</li> <li>世帯構成に応じて自治会費に差をつけて、参加を促進する</li> <li>行政は自治会について学び直す</li> <li>自治会制度について市民が理解するよう行政区毎の説明会を開催する</li> <li>自治会制度について行政と自治会協議会で協議、検討する</li> <li>自治会は、加入自由とするか、原則全戸加入とするのか、議論する必要がある</li> <li>相応の報酬を出す必要がある</li> </ul>
<p><b>自治会のあり方(目指す方向)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住民自治と自治会制度(1行政区1自治会)のあり方を見直し</li> <li>自治会の法律化を推進する</li> <li>学ぶ自治会、学べる自治会となる</li> <li>身を捨てる覚悟で奉仕者として自治会に入る</li> <li>自治会を楽しい組織にする</li> <li>自治会制度を活かす制度、仕組みを作る</li> <li>自分達がまちをつくっているという達成感が持てる仕組みを作る</li> </ul>
<p><b>小学校区自治協議会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治協議会は、他自治会や隣組内と交流する機会を作る</li> <li>他自治会横断ツアーや先進地視察等行う</li> </ul>

解決の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や町内の行事には、積極的に参加するよう働きかける</li> <li>・防災訓練を通じてご近所の意識の醸成</li> <li>・単に意見交換の場ではなく趣味を通じて集う</li> <li>・サークル活動の充実（趣味があうと仲良くなれる）</li> <li>・地域行事を楽しいものにする。子ども向けの公民館活動等を通じて役員と地域の若い世代をつなぐ役割を担うべき</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会と行政の情報共有できる会議の場を作る</li> <li>・参画する人の固定化。南小学校と地域、合同で運動会、文化祭を開催している</li> <li>・PTA、子ども会との協働開催、などで参加者が増える</li> <li>・子どもを柱に中高生以上、大学生も取り組みをする</li> <li>・「あいさつ運動」顔を見て出会いが重なれば深まる人間関係</li> <li>・入っていない人に、“助け合う”ことの大切さを伝える</li> <li>・隣近所と顔見知りになる（安否確認）</li> <li>・隣近所と仲良くする</li> <li>・独り暮らしの人が安心して生活できる取り組みを</li> <li>・「フェイスブック」（すぐ回答できる）を使っている市役所、自治体がいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政と住民との橋渡し役として機能する自治会</li> <li>・地域づくりの担い手として機能する自治会</li> <li>・自ら問題解決のための知恵を出す（＝自分の事は自分達でやる）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・住んでいる所で身近な人と交わる</li> <li>・エネルギー資源の町内での循環をつくる</li> </ul>		<p><b>自治会の機能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や町内の行事には、積極的に参加するよう働きかける</li> <li>・防災訓練を通じてご近所の意識の醸成を図る</li> <li>・単に意見交換の場ではなく趣味を通じて集う</li> <li>・趣味が合うと仲良くなれるので、サークル活動を充実させる</li> <li>・地域行事を楽しいものにする</li> <li>・子ども向けの公民館活動等を通じて役員と地域の若い世代をつなぐ役割を担う</li> <li>・自治会と行政が情報共有できる会議をつくる</li> <li>・参画する人の固定化。南小学校と地域、合同で運動会、文化祭を開催している</li> <li>・PTA、子ども会との協働開催、などで参加者が増える</li> <li>・子どもを柱に中高生以上、大学生も含めた取り組みを企画する</li> <li>・「あいさつ運動」により顔を見て出合いを重ね人間関係を深める</li> <li>・入っていない人に、“助け合う”ことの大切さを伝える</li> <li>・隣近所と顔見知りになる（安否確認）</li> <li>・独り暮らしの人が安心して生活できる取り組みを進める</li> <li>・フェイスブックなどすぐ回答できる仕組みをつくる</li> <li>・行政と住民との橋渡し役として機能する自治会となる</li> <li>・地域づくりの担い手として機能する自治会となる</li> <li>・自ら問題解決のための知恵を出す</li> <li>・自分の事は自分達でやる</li> <li>・エネルギー資源の町内での循環をつくる</li> </ul>
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・市長と自治会長は対等である</li> <li>・自治会と行政の役割と権限の明確化。⇒問題はその境目</li> <li>・市政運営のあり方を市民に知らせる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市と対等に動く</li> <li>・「できること」を相互に見つめ直して持ち寄る仕組み</li> </ul>		<p><b>協働</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会長と市長は対等である</li> <li>・市と対等に動く</li> <li>・自治会と行政の役割と権限を明確化する</li> <li>・できることを相互に見つめ直して持ち寄る仕組みを作る</li> <li>・市政運営のあり方を市民に知らせる</li> </ul>	
					<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域計画をつくって行政機関、事業者、住民で役割分担する仕組み</li> <li>・行政は自治を支えると明言する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つなげる人が必要。（コーディネーター）</li> </ul>	<p><b>コミュニティの育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域計画をつくって行政機関、事業者、住民で役割分担する仕組みをつくる</li> <li>・行政は自治を支えると明言する</li> <li>・つなげる人（コーディネーター）が必要である</li> </ul>	

<b>25. ボランティア、NPO</b> ・退職職員のボランティア活動がない。自治会の役員にもならない ・ボランティアに参加する市民が少ない ・町中でもっと議論して良い町を	・やらされるものではなく、自分がやりたいと思ってるもの ・市外から活動しにくる人が多い →市内の人が動き出す仕組み	・地の人、太宰府で積極的に「再発見」しようと思えるように ・解決する力、創出する力がないのが問題ではないか？ ・自ら動き、失われた地域の力を取り戻せないか	・NPO 活動を通じてコミュニティの繋がりを作っていきたい ・縦のつながりと横のつながり →NPO 活動をするのに行政頼りもあんまりよくないなあとも思っている →自立したい
--	---	---	--

	1班	2班	3班	4班	5班	6班	7班
なぜ	・ボランティア等は地域にとって大切だという認識が薄い。 ・きつい、無報酬、なかなか止められないというイメージが定着している。	・ボランティア活動は、個人の考え次第。地域に関心を持たせるような（自治会等の）動きが必要。 ・ボランティア、NPO活動の場、市内限定でないダメなのか？ ・現役世代は仕事や子育てに忙しく、ボランティアする気持ちを持っていても年齢が高く、意欲が出ない。		・太宰府市NPOボランティア支援センターを知らない方が多い ・退職者に対するの広報がない （ボランティア募集など）		・何をやるNPOか知られていない ・受信する場と、発信する場が繋がっていない	・まず自分が動き出す努力を怠っている！ ・ボランティアやNPOの捉え方の違い（有償、無償とか）
	・自分自身がまず楽しむ！ 仲のいい友人等と始めてみる ・成し遂げた喜びを感じてもらえるような取り組みを行う						・give&take がないとダメ
解決の方向	・いつでも自分ができることを、自分ができる時間、範囲内で、の意識へ		・ボランティアの“楽しさ”を子どもの時から学べること ・土日にできるボランティア活動の場所が欲しい、もしくは情報が欲しい				・話し合う場をつくる
		・情報を出しておけば、そのうち活性化していく					
						・NPO 自体でできることをプランニングしてアピールする	・話し合う場をつくる

振り分け

<b>基本原則</b> ・自分自身がまず楽しむ ・仲のいい友人等と始めてみる ・成し遂げた喜びを感じてもらえるような取り組みを行う ・give&take を基本とする
<b>市民の役割・責務</b> ・「いつでも自分ができることを、自分ができる時間、範囲内で」の意識をもつ ・ボランティアの“楽しさ”を子どもの時から学べる環境整備等を行う ・土日にできるボランティア活動の場所・情報の整備を行う ・話し合う場をつくる
<b>行政の役割・責務</b> ・ボランティアの“楽しさ”を子どもの時から学べる環境整備等を行う ・土日にできるボランティア活動の場所・情報の整備を行う ・話し合う場をつくる
<b>コミュニティ</b> ・ボランティアの“楽しさ”を子どもの時から学べる環境整備等を行う ・土日にできるボランティア活動の場所・情報の整備を行う ・話し合う場をつくる
<b>情報公開、情報共有</b> ・情報を出しておけばそのうち活性化していく
<b>NPO・事業者</b> ・NPO 自体でできることをプランニングしてアピールする ・話し合う場をつくる

解決の方向			<ul style="list-style-type: none"> <li>・“みかピカ”福祉大、築女大、大学生との川掃除、地域とNPO</li> <li>・高雄区の夏祭り、太宰府高校の音楽で出演してもらった</li> <li>・高齢者、子ども、障害を持っている方も一緒(保育所)、共同で安心して暮らせる総合福祉施設⇒福祉のまち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰でも利用できる場(特に17:00~21:00)</li> </ul>				<b>要確認</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・“みかピカ”福祉大、築女大、大学生との川掃除、地域とNPOの協働を進める</li> <li>・高雄区の夏祭りへの、太宰府高校の音楽出演を続ける</li> <li>・高齢者、子ども、障害を持っている方も一緒に、共同で安心して暮らせる総合福祉施設(福祉のまち)</li> <li>・誰でも利用できる場、特に17:00~21:00に利用できる場をつくる</li> </ul>
-------	--	--	--	---	--	--	--	---



<b>26.企業や大学との協働</b> ・地元大学と地域の連携の見直し ・企業との協働	・キャンパスネットワーク会議とは異なる大学を活用した、連携したまちづくりが成されていない	<b>その他</b> ・市民は挨拶が少ない ・挨拶を続けること、知り合うこと→防犯、福祉へつながる ・求めているけれど自分から動き出そうとしない	・見ているだけでは分からない。話してみることで分かることがいっぱいある ・市民の年功序列
---	--	---	---

	1班	2班	3班	4班	5班	6班	7班
なぜ	<ul style="list-style-type: none"> <li>官、民、学の連携がないから。</li> <li>企業、大学側の社会貢献に対する考え方。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学の先生方が、総じて太宰府の諸活動に無関心、横の連携もあるのかわからないのか不明。</li> <li>学生と地域の交流の場がない。</li> <li>他人に頼むのが楽。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学から直接帰宅ではなくて、昼間、地域でふれあって信頼がつけられる</li> <li>水城が丘、筑女大と福祉に関するアンケート調査を通して、出会い触れ合えて喜んであった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元大学と真の連携が行われていない。(福祉や教育など)</li> <li>地元大学(地域と連携できる教授)と行政、自治会等で協議する必要がある。</li> </ul>			
解決の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>官、民、学のプロジェクトを立ち上げる。</li> <li>企業、大学との協働による事業。例えば大学生とのレクリエーション、ふれあいサロンへの参加等。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>市、地域が若者、大学生の参加(参画)しやすい仕掛けづくりを。</li> </ul>				
					<ul style="list-style-type: none"> <li>大学の体育館の利用</li> <li>太宰府天満宮との協働を考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学校法人」と「学生」どこまでが大学か</li> </ul>	

振り分け

<p><b>市民の役割・責務</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>官、民、学のプロジェクトを立ち上げる 例えば大学生とのレクリエーション、ふれあいサロンへの参加等</li> <li>市と地域が、若者・大学生が参加(参画)しやすい仕掛けをつくる</li> </ul>
<p><b>行政の役割・責務</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>官、民、学のプロジェクトを立ち上げる 例えば大学生とのレクリエーション、ふれあいサロンへの参加等</li> <li>市と地域が、若者・大学生が参加(参画)しやすい仕掛けをつくる</li> </ul>
<p><b>住民・市民参加制度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>官、民、学のプロジェクトを立ち上げる 例えば大学生とのレクリエーション、ふれあいサロンへの参加等</li> <li>市と地域が、若者・大学生が参加(参画)しやすい仕掛けをつくる</li> </ul>
<p><b>NPO・事業者</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>官、民、学のプロジェクトを立ち上げる 例えば大学生とのレクリエーション、ふれあいサロンへの参加等</li> <li>市と地域が、若者・大学生が参加(参画)しやすい仕掛けをつくる</li> </ul>
<p><b>コミュニティ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>官、民、学のプロジェクトを立ち上げる 例えば大学生とのレクリエーション、ふれあいサロンへの参加等</li> </ul>
<p><b>要確認</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大学の体育館を利用できるようにする</li> <li>「学校法人や学生等、どこまでが大学か」という定義づけを行う</li> <li>太宰府天満宮との協働を考える</li> </ul>

03.職員の対応

- 行政の行動は、顔が見えるように
- 言ったこと、書き残したことに、市長も議員も明確な責任とる
- 窓口対応が悪い、常識がない、不信を増長していないか
- 電話で名乗らない
- 言ったこと書き残したことに明確な責任とる
- 市長は明確な責任を負っていることを自覚すべき
- 市長も議員も責任あり
- 何でも「自治会長を通して」と言う
- 態度、もう少し柔らかく
- いきなり配属され勉強が足りてない

	1班	2班	3班	4班	5班	6班
なぜ	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 情報公開の速度が遅い</li> <li>• 議論、議事録並びに資料を公開する</li> <li>• 内部評価ばかりしているから</li> <li>• 企画力が欠如している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• お役所体質が直っていない</li> <li>• 市民と職員の信頼関係ができあがっていない</li> <li>• 市民同士も信頼関係ができあがっていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 接遇研修が不十分</li> <li>• 市民サービス業との自覚が不足、不十分</li> <li>• (例) 市民農園の状況を見て回るくらいの配慮が必要では？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 客観的な意見なのか、まじめな職員もいる</li> <li>• 出会った職員によるが、こう感じた人がいることは事実</li> <li>• いろいろな視点があるから、こうだとは判断できないのでは</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• いきなり現場になるやり方でいいのか？</li> <li>• 研修期間が必要では？</li> <li>• 市民からみたエキスパートとしてみる</li> <li>• 共助がなくなり、行政への要求が増えていった</li> <li>• 役所の柔軟性がなくなってきた</li> </ul>
解決の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 丁寧な説明をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 情報公開のスピード化を計る</li> <li>• 「目次」をネットに載せる</li> <li>• 誰でも取得できる方法で情報公開を実施する</li> <li>• 庁内において、業務提案制度を実行性のあるものにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 役所の部（課）の人員配置が悪いのではないか。課長若しくは係長が列の一番前に席を占めるべきでは？</li> <li>• もっと職員と市民が顔を合わせて話ができる時間、場を増やす。話し合いの結果をしっかりと市民にフィードバックする。</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 他自治体職員との交流、研修を活発に</li> <li>• 前向きで意欲ある職員を他機関（シンクタンク）等への出向</li> <li>• 「接客マナー」研修の充実、例えば企画体験など</li> <li>• 専門職については対等に対応（正しく説明）できるように勉強して下さい</li> <li>• スペシャリストも必要だけど、全般的にはゼネラリストが大切では</li> <li>• 部署によって違ってくる（業務内容によって両方必要だったり）</li> <li>• 自らの仕事が充分対応出来ているか。他の行政職員等との交流をやり専門性を高める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 異動したばかりの人には先輩がついているシステムができてない</li> <li>• 具体的な事例をピンポイントで直していく</li> </ul>

集約

- 行政の役割・責務**
- 丁寧な説明をする
  - 情報公開のスピード化を計る
  - 「目次」をネットに載せる
  - 誰でも取得できる方法で情報公開を実施する
  - 庁内において、業務提案制度を実行性のあるものにする
  - 役所の部（課）内の配置について、課長若しくは係長が列の一番前に座る
  - もっと職員と市民が顔を合わせて話ができる時間や場所を増やし、話し合いの結果をしっかりと市民にフィードバックする
  - 他自治体職員との交流、研修を活発に行う
  - 前向きで意欲ある職員を他機関（シンクタンク）等への出向させる
  - 企画体験など「接客マナー」研修の充実を図る
  - 専門職は、市民に対して対等に対応し、正しい説明を行う
  - スペシャリストも必要であるが、全般的にはゼネラリストが大切である
  - 業務内容によってスペシャリストとゼネラリストの両方が必要となるなど、部署によって違ってくる
  - 自らの仕事が充分対応出来ているか、他の行政職員等と交流し、専門性を高める
  - 異動したばかりの人には先輩がついているシステムができてない
  - 具体的な事例を用いてピンポイントで直していく

04.職員の資質

- ・職員から納得できる回答ない
- ・勉強不足である

- ・少人数で多量の仕事をし、住民を交え、考えてコーディネートできる職員が必要

・「協働【複数の主体が、何らかの目標を共有し、ともに力を合わせて活動すること】」を答えられない。

- ・協働の考え方が、職員によって異なる

	1班	2班	3班	4班	5班	6班
なぜ	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やるべきことが実行されていない、自負されていない</li> <li>・時間がない立場を理解して対応しない</li> <li>・住民にとって何がメリットとして生じるのかを考えているのか</li> <li>・目的遂行のための役割を担っているか</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先輩、上司に意見を求める体制が必要</li> <li>・職員の研修、指導体制が確立していない</li> <li>・職員の配慮に関する希望を尊重されるのか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不信感が先に立ち（職員、市民お互いに）対話ができない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が過度なサービスを求めている</li> <li>・高齢化した地域で地域力を求められても・・・</li> </ul>
解決の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間でフォローしあう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民に対して情報公開の部署が必要（情報公開室）</li> <li>・行政情報を「図書司書」的な役割の職員が必要</li> <li>・ワンストップを実施する</li> <li>・専門職、総合職の役割分担</li> <li>・総合化する</li> <li>・細分化した専門</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員はもっと説明責任を負う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員採用を客観的に評価するシステムを確立する</li> <li>・「協働」については行政、市民を含め研修する必要がある</li> <li>・職員の研修システムは十分か</li> <li>・専門的知識の研修が必要</li> <li>・市長は職員の人材育成 職員の適材適所の配属と登用を図っているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の自治会活動にもっと積極的にかかわり、地域との信頼関係を築くべき</li> <li>・地域活動やボランティア活動に積極的に参加する</li> <li>・「市民が求める課題を解決する」という気概をもっと強くもつ（受身でやるのではなく、自分ならこうするという積極性をもつ）</li> <li>断わるのではなく絶対解決するという気概</li> <li>・住民との「対話」ができる職員に（一方向でなく、双方向での話し合い・積極的傾聴）</li> <li>・市民への押しかけ出前授業</li> <li>・市民に身近な職員を</li> </ul>	—
					<ul style="list-style-type: none"> <li>・区との連絡職員を</li> </ul>	

集約

<p><b>行政の役割・責務</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間でフォローしあう</li> <li>・市民に対して情報公開の部署（情報公開室）が必要である</li> <li>・行政情報を説明する「図書司書」的な職員が必要である</li> <li>・ワンストップサービスを実施する</li> <li>・専門職、総合職の役割分担を考える</li> <li>・細分化した専門性を総合化する</li> <li>・職員はもっと説明責任を負う</li> <li>・職員採用を客観的に評価するシステムを確立する</li> <li>・「協働」については行政、市民を含め研修する必要がある</li> <li>・職員の研修システムを検証する</li> <li>・専門的知識の研修が必要である</li> <li>・市長は職員の人材育成、職員の適材適所の配属・登用を図る</li> <li>・地元の自治会活動にもっと積極的にかかわり、地域との信頼関係を築く</li> <li>・地域活動やボランティア活動に積極的に参加する</li> <li>・「市民が求める課題を解決する」という気概をもっと強くもつ</li> <li>・断わるのではなく絶対解決するという気概をもつ</li> <li>・受身でやるのではなく、自分ならこうするという積極性をもつ</li> <li>・住民との「対話」ができる職員を目指す</li> <li>・一方向でなく双方向での話し合い、積極的傾聴をこころがける</li> <li>・市民への押しかけ出前授業を実施する市民に身近な職員を目指す</li> </ul>
<p><b>人員配置</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区との連絡職員を担う</li> </ul>

<p><b>05.職員の数</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適正な人数は？</li> <li>・職員も疲労している</li> <li>・職員が少ない</li> </ul>	<p><b>06.責任の所在</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者の責任の所在はどの程度か</li> </ul>
---	---

	1 班	2 班	3 班	4 班	5 班	6 班
なぜ	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まず議論の段取りが踏まれているのか</li> <li>・職員間で議論しているのか</li> <li>・限られた人しか見ることが出来ないものがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者に責任の所在が与えられていない →判断がすぐできない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適材適所の人員配置であるのか</li> <li>・職務の公平な配分、配置は計られているか</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・減らすことだけがいいとは限らない</li> <li>・ボランティアは人に言われてするものではない</li> <li>・地息活動に差がある</li> <li>・たて社会の排除</li> </ul>
解決の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の提案制度が必要</li> <li>・外部委託についてはケースバイケース</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内の情報共有をする</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他市との比較はどうなっているのか</li> <li>・職員の業務マニュアルを作成する</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代の教育→地域活動</li> <li>・子ども会活動があるうちは親も地域に参加する</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者（外部）評価が必要</li> </ul>				

集約

<p><b>行政の役割・責務</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員提案制度が必要である</li> <li>・外部委託はケースバイケースで行う</li> <li>・庁内の情報共有をする</li> <li>・他市との比較を行う</li> <li>・職員の業務マニュアルを作成する</li> <li>・若い世代の教育として地域活動に参加する</li> <li>・子ども会活動があるうちは親も地域に参加する</li> </ul>
--

<p><b>行政の活性化・改革の方策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者による評価（外部評価）が必要である</li> </ul>
--

**07.市長の責務、説明責任**

- ・市長が決断すればいいのに。しない市長が悪い。
- ・議員の声を無視しても平然
- 市長は安住している
- ・もっと自覚が欲しい。議会の報告がない。市民も安住している
- ・市長は多様な市民の声を聞いて欲しい
- ・顔色伺いではなく自由かつ達に
- ・市長のワンマンさ（自治会制、電波条例）
- ・市長が独断的、専断的
- ・市長の説明不足
- ・市長に直接提言（手紙）3回。これまで何の音沙汰もなし。（4年間で）最新は昨年12月観光行政について積極的な案(USBに入れた事も)
- ・自治基本条例の役割が不明確、市民の声が届かない
- ・自治基本条例を制定する市の姿勢が明確でない

	1班	2班	3班	4班	5班	6班
なぜ	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議論の時間が短いのではないか</li> <li>・市長—議会が市民のためにコミュニケーションをとっているのか？</li> <li>・議論に不透明さが残る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市長と職員の交流が少ないのでは？</li> <li>・配属先で業務をしっかりと行っているかが見えない、伝わってこない</li> <li>・市長の考え・思いが他の人に伝わりにくいので、独断的に見えるのでは</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市長としての役割職務を自覚されているのか</li> <li>・市民からの意見、質問に対して回答しないのは何故か。市長の自覚が足りない</li> <li>・市民の意見や要望を集約し、公報等で返していない？</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市長は決断している。それは違うのでは？</li> <li>・独断的？それはリーダーシップ</li> <li>・要求への回答の手続きが見えないから？</li> <li>・透明性をとる？スピード感をとる？</li> <li>・状況がわからないのでイメージができない</li> </ul>
解決の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テニスコート 取消、変更は1ヶ所の連絡で良いのではないか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何故しない、するのかの説明を果たされていない</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市長は市民と議会への説明責任を自覚する</li> <li>・市長は「公正かつ誠実に」職務を遂行しなければならない</li> <li>・市長は重要政策に関して市民にわかりやすく説明する責任がある</li> <li>・市長の独断専行に対する市民の説明を求める権利をつくる</li> <li>・市長と議会が対立した場合、それぞれが市民に説明する責任がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・権力に対して抑制することとリーダーシップを発揮することの2つの調和 →ひとつの方法として“フェイスブック”</li> <li>・否定するからには住民が納得するように説明責任を</li> <li>・市長が議会に対しての反問権があつてよいのでは</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選挙で結果がでる</li> </ul>
					<ul style="list-style-type: none"> <li>・権力に対して住民は抵抗する権利（力）、提案する力、そして聴く力をもつ</li> </ul>	

集約

<p><b>行政の役割・責務</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テニスコートの取消、変更は1ヶ所の連絡で良い</li> <li>・何故しないのか、何故するのかの説明責任を果たす</li> <li>・市長は市民と議会への説明責任を自覚する</li> <li>・市長は「公正かつ誠実に」職務を遂行しなければならない</li> <li>・市長は重要政策に関して市民にわかりやすく説明する責任がある</li> <li>・市長の独断専行に対する市民の説明を求める権利をつくる</li> <li>・市長と議会が対立した場合、それぞれが市民に説明する責任がある</li> <li>・権力に対して抑制することとリーダーシップを発揮することの2つの調和をはかる</li> <li>・フェイスブックを活用する</li> <li>・否定するからには住民が納得するように説明責任をはたす</li> <li>・市長は議会に対して反問権をもつ</li> <li>・選挙で結果がでる</li> </ul>
<p><b>市民の役割・責務</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・権力に対して住民は抵抗する権利（力）、提案する力、そして聴く力をもつ</li> </ul>

<p><b>01.縦割り行政</b>                  ・縦割りの行政（ごみ、放置自転車）                  ・たらい回し                  ・横のつながりが少ない                  →どこの都市でも起きていること</p>	<p>・セクト主義【縄張り（行政で言えば課や部）を重んじる考え方。→縦割りにつながる】</p>		
<p><b>02.行政体質</b>                  ・対応が遅い                  ・行政はなかなか動かない                  ・経過報告は解決に至っていない                  ・返事はいいが実行しない、職員の言行不一致                  ・行政はまず市民の声を聴くこと                  ・公平性の欠如                  ・体質が古い                  ・行政は独善的                  ・行政のあり方が[欺まん、怠慢、ズサン]</p>	<p>・協働と唱える割にお上意識が抜けない。役所は自分達の事を「天の声、神の声、態度」                  ・障がい者行政が活性化しない。システムがなく地域づくりができない。財政不足を理由に話が先に進まない                  ・JR 太宰府駅不要</p>		
<p><b>09.説明責任</b>                  ・行政の説明が少ない（例）太宰府館建設、スポーツセンターいずれも突然出てきた話                  ・総合体育館建設に疑問あり                  ・情報の共有と説明責任がない                  ・情報が市民にオープンでない</p>	<p>・景観行政、市の情報公開がされてない                  ・障がい者、行政が活性化しない                  ・システムがなく地域づくりができない。                  ・財政不足を理由に話が先に進まない                  ・予算がないと言われる                  ・JR太宰府駅は不要</p>		
<p><b>12.お上意識</b>                  ・上から目線                  ・一般常識欠ける                  ・行政と市民の関わり、ふれあい悪化                  ・行政（執行部及び職員）は市民に目を向けて、全体の奉仕者として公共の利益のために職務を行っているか？</p>	<p>・協働の声は高いが、市民に協働を強いるのみ。お上意識強い。（例）総合計画策定では市民参画あるも、総合段階では行政内部で行い、市民は除外                  ・もっと行政に協力してもらえたら嬉しいなあ</p>		
<p><b>14. 行政手続、組織体制等</b>                  ・市職員の職務評価や人事制度は正当に、適正に行われているか？                  ・監査が機能していない                  ・市職員の職務に対する意見等は公平にとりあげられて、行政に活かされているか？                  ・公益通報制度【公益通報者保護制度企業など、組織ぐるみの不正を内部から告発した人を解雇や嫌がらせなどから守る制度】の制定                  ・市の職員の勉強不足（人事異動）→職員研修制度</p>	<p>・行政の人はもっと自分の課の仕事について勉強をして欲しい                  ・新卒教育ちゃんとやっている？接客がなっていない                  ・政治倫理条例【地方議員や首長がその地位を利用し私的な利得を得てないことを証明するため資産や所得を報告させ審査・公開し、逮捕起訴に対する説明責任や、有罪判決を受けた場合の問責等について規定した条例】の制定</p>		